

1号機原子炉格納容器内部調査について

- i. 東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会 第37回会合
資料1 「1号機原子炉格納容器内部調査の状況について」（技術研究組合国際廃
炉研究開発機構 東京電力ホールディングス株式会社）

原子力規制庁の論点

1. 東京電力及びIRIDによる1号機原子炉格納容器内部調査において、広範囲にわたる堆積物の他、ペデスタル開口部外側及びペデスタル内部の全周にわたるコンクリート喪失（鉄筋部分は残存）が確認された。
2. 1号機原子炉格納容器内の様子は、従来、安全評価のために考えられてきたMCCIとは異なっている。
3. 更なる調査・分析のためには、PCV内部の追加調査/サンプル採取が必要。また、コンクリート喪失等の挙動把握のため、コンクリート試験体等の加熱試験が重要。

3-1.ペDESTAL基礎部の状態について①



- ペDESTAL内側下部のコンクリートが一部消失している箇所（床面より1m程度）には配筋を確認
 - 配筋には、垂直方向の引っ張り荷重を支持する縦筋と、周方向の引っ張り荷重を支持する横筋が存在するが、縦筋は大きな変形がなく当初の形状を維持<写真1>
 - 配筋は、製造時に施工されている格子状の凹凸が確認され、製造・据え付け時の寸法が維持されていると推定<写真1,2>
- 配筋露出箇所の上部には、棚状堆積物が存在し、それより上部にはコンクリートが残存<写真3>



写真1. ポイント@ペDESTAL基礎部



写真2. ポイント@ペDESTAL基礎部

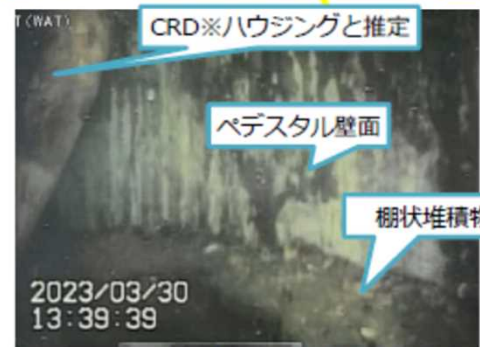
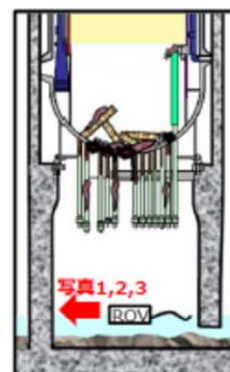


写真3. ペDESTAL内の棚状堆積物と壁面部

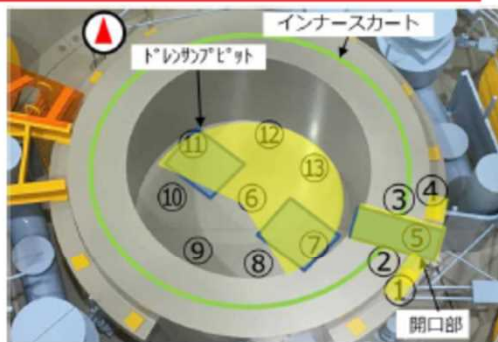
ペDESTAL縦断面(推定)



(※CRD：制御棒駆動機構)

東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会 第37回会合 資料1「1号機原子炉格納容器内部調査の状況について」(技術研究組合国際廃炉研究開発機構 東京電力ホールディングス株式会社)より抜粋

【参考】ペDESTAL開口部から撮影した映像のパノラマ画像



画像処理：東京電力ホールディングス(株)

東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会 第37回会合 資料1「1号機原子炉格納容器内部調査の状況について」(技術研究組合国際廃炉研究開発機構 東京電力ホールディングス株式会社)より抜粋

○コンクリート試験体の加熱試験等

東京電力ホールディングス株式会社

